

佐藤 良太 (Ryota SATO)

学位： 博士（文学）

略歴：

佛教大学大学院修士課程修了

佛教大学大学院博士課程単位取得満期退学

専門分野： 日本近代文学

研究課題： 近代日本における〈神〉

【著書】

- ・ 『京都近代文学辞典』（共著，日本近代文学会関西支部，和泉書院，2013. 5）
- ・ 『兵庫近代文学事典』（共著，日本近代文学会関西支部，和泉書院，2011. 10）

【論文】

- ・ 文学の授業におけるICT活用の有用性—可視的文学授業の利点（『愛知文教大学 教育研究』第9号，2019. 3）
- ・ 泉鏡花『外科室』（『愛知文教大学 比較文化研究』第15号，2018. 11）
- ・ 夏目漱石『夢十夜』—「第一夜」における〈自己〉（『愛知文教大学 教育研究』第7号，2017. 3）
- ・ 夏目漱石『門』—〈理性〉の境界（『愛知文教大学論叢』第19号，2016. 11）
- ・ 夏目漱石『吾輩は猫である』—反転する〈近代〉の教育（『愛知文教大学 教育研究』第6号，2016. 3）
- ・ 近現代文学を用いた〈国語科教育法〉の研究1—〈言語活動〉としてみた芥川龍之介『蜜柑』の分析（『愛知文教大学 教育研究』第5号，2015. 3）
- ・ 『坊っちゃん』—〈近代〉へのマニフェスト（『愛知文教大学比較文化研究』第13巻，2014. 11）
- ・ 夏目漱石『こころ』—描かれた〈五倫〉と荀子〈性悪説〉（『愛知文教大学論叢』第17号，2014. 11）

【その他】

- ・ 「森鷗外『舞姫』—〈まことの我〉と〈演じる我〉自我と社会の桎梏—（高大連携：伊那西高等学校 2018年10月18日）
- ・ 「漱石生誕150年 夏目漱石〈国民的作家の相貌〉」（佛教大学四条センター講座 2017年11月15日）
- ・ 「〈京都〉に学ぶということ—佛教大学25年—（学科講演 第8回佛教大学ホームカミングデー 2017年11月5日）
- ・ シンポジウム「漱石文芸とキリスト教」—『門』をめぐって（日本キリスト教文学会関西支部 於：関西学院大学 2017. 1）
- ・ 「漱石作品〈その死後の生〉」（京都漱石の會 司会 於：御所西京都平安ホテル 2016年11月）
- ・ 「〈私〉とは何か？—文学に描かれた〈自己〉—」（高大連携：伊那西高等学校 2016年10月12日・26日）
- ・ 「没後100年 夏目漱石と〈近代〉明治—日本人へのメッセージ」（岩倉市生涯学習講座 於：岩倉市生涯学習センター 2016. 5~7）
- ・ 『坊っちゃん』—〈近代〉へのメッセージ（愛知文教大学公開講座，於：愛知文教大学，2014. 9. 18）
- ・ 「漱石の使った日本語」「漱石・鷗外のラブレター」（小牧市民講座，於：愛知文教大学，2014. 7. 31）
- ・ 日本キリスト教文学会関西支部運営委員（2014年7月～至現在）
- ・ 阪神近代文学会『阪神近代文学』運営委員（2015年7月～至現在）

【研究テーマ】

・日本近代における形而上認識の生成と展開を、日本近代文学、殊に漱石文学に跡づけることを現今のテーマとしています。特に『門』や『行人』『こころ』といった漱石晩年の作品にみえる宗教観は、近代知識人の入り込む隘路を示しており、近代人に対する危惧と警鐘を鳴らしているといえます。東洋的倫理観と西洋的規範、内と外を知悉した漱石の出した回答は、近代のみならず、現代日本にあってもなお有効性を保ち続けているといっ
てよいでしょう。過去の文学から未来に資する文学へ。漱石文学の尽きない魅力を宗教・思想的側面より研究しています。